

イオン式・化学式カード

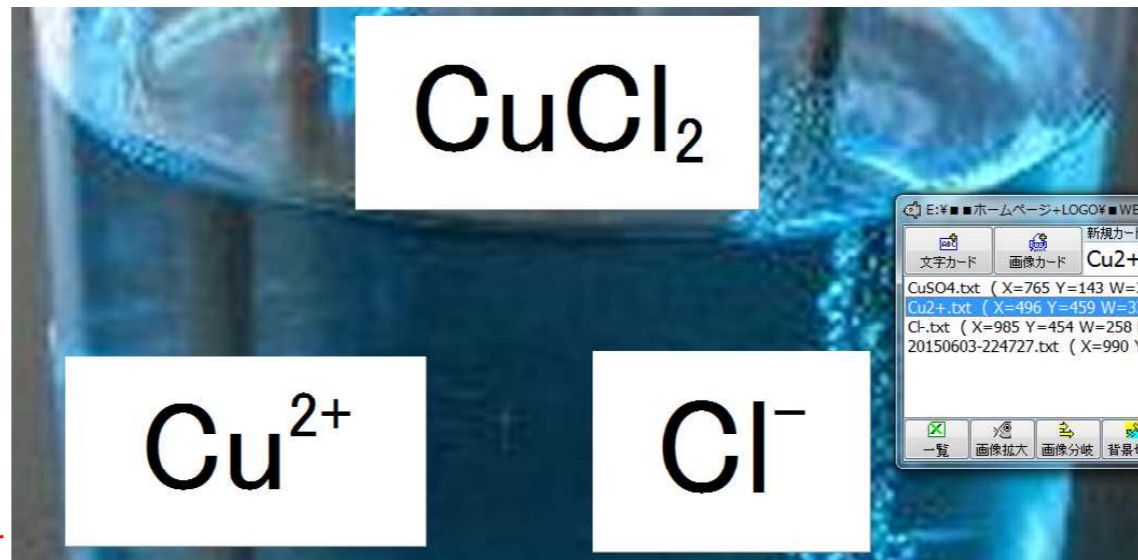
電解質の学習で、塩化銅水溶液を使い、イオンによって電流が流れることを学習します。
icard で、イオン式や化学式を簡単に入力でき、画面のイオン式や化学式を動くカードとしてマウスで操作できます。

icard では、カードをマウスで動かせることが特徴です。
磁石で作ったカードを黒板の上で操作するように、大型モニタのリアルな写真の上でカードを操作できます。
イオン式の＋の記号は、自動的に上付で表示されるので、記述も簡単です。
icard は、PowerPoint よりも教育に特化した機能をもっています。

① 塩化銅水溶液の画像を icard のクジラ（背景）アイコンをクリックして、背景を設定します。



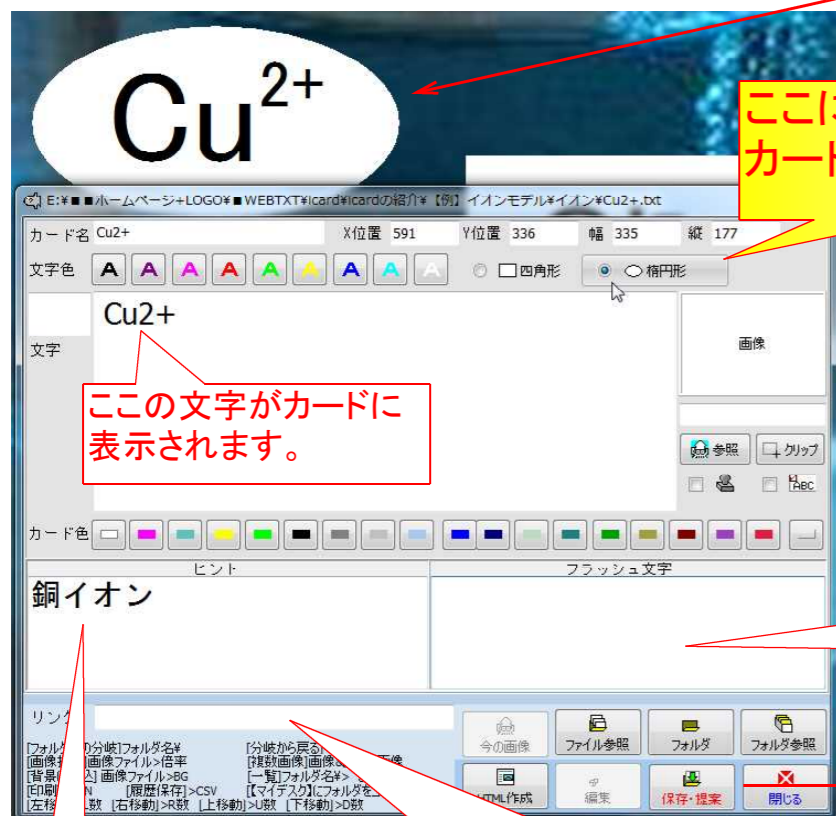
② icard のマンボウ（カード作成）アイコンをクリックして、CuCl₂、Cu²⁺、Cl⁻のカードを作成する。



Cu2+ と記述すると、
icard が自動的に 2 + を上付にして
Cu²⁺ とイオン式にする。

※ icard では、中学校で学習するイオン式、
化学式を自動的に上付、下付にする。
(例) H2O は、H₂O と表示されます。

③ イオンのカードを右クリックして、編集モードで楕円にする。



ここにチェックを入れて、
カードを楕円にします。

この文字がカードに
表示されます。

イオンカードは、
マウスで動かせます。

ここに文字を入れると、
フラッシュカードになります。

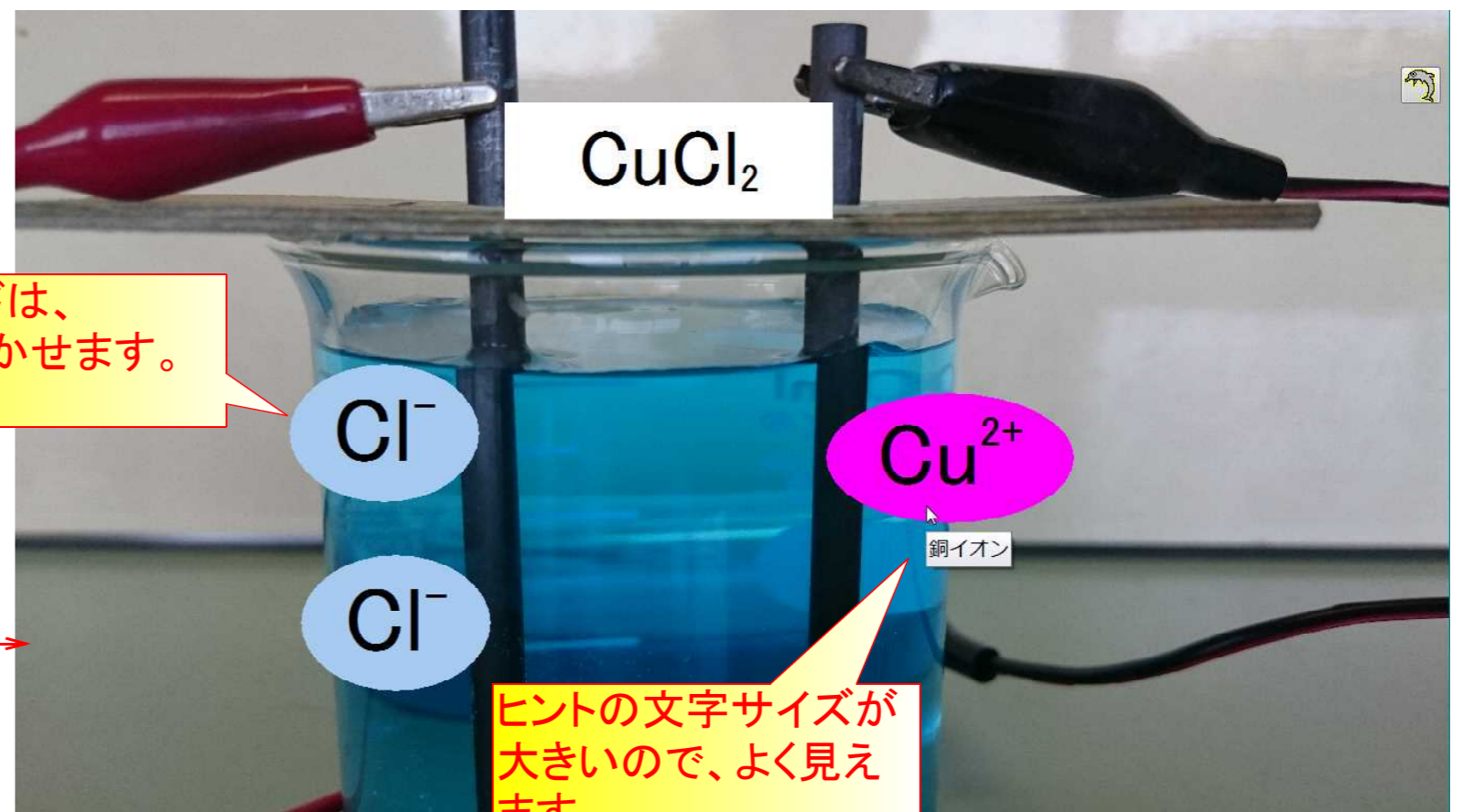
ヒント文字

カードをクリックして、分岐とか、カードが
動かなんでも、ここで記述できます。

保存して完成

④ 【完成】 授業では、イオンカードを動かしながら説明する。

< ↓ icard で提示されている画面 >



ヒントの文字サイズが
大きいので、よく見え
ます。